
擬似的未来観測

清瀬 柚李

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

擬似的未来観測

【Nコード】

N1334I

【作者名】

清瀬 柚李

【あらすじ】

殺気立つ市丸と日番屋。

乱菊が止めるまもなく斬魂刀はぶつかりあう。

それは藍染反逆の前の話

（前書き）

こんにちは

もしくはこんばんは

10月は好きな季節です

10月の初っぱなからBLEACH、ギン乱風味でお届けします（
^^）

リニューアルした「小説家になろう」でも、清瀬柚李をよろしくお
願いします

腹部に重い質量。

殺気にまみれた翡翠を見下ろす。

ああ、相変わらず眉間にしわ寄せて、可愛い無いわあ。
漏れた息から血の臭いがした。

神槍を横に振るってそのいつそ憎たらしい程綺麗な神童はんの顔を狙う。

しゃがみこんで避けて、後ろに飛び距離を取る。

やっぱり伊達に隊長やあらへんなあ、と考えながら、後ろに倒れかけた身体を支えるべくたたらを踏む。

「…へえ。案外しぶといな」

今のは入った筈だぜ？

挑発的に笑う日番谷はんの問いには答えない。

口角を上げてみる。

ちよつとした虚勢になればいい。

「…なんや、一応役不足では、無いみたいやねえ。十番隊隊長はん？」

一応、を強調すれば薄い笑いは掻き消え、霊圧は急上昇。
ほら、まだまだアンタは若い。
こんな簡単な挑発に乗ってくる。

「……、たい、ちょ……ッ」

さっき自分で吹っ飛ばした乱菊をちらりと視界の中に映して、せせら笑う。

「乱菊。お前はそこにおり。…危ないで？日番谷隊長がキレはったわ」

隊長たるもの。常に冷静な判断で全体を見るべきやね。

「…市丸…」

「なんや？」

「お前は、俺が、倒す。」

…松本」

「………」

「手え出すんじゃねえ」

「……、はい」

息苦しい程、日番谷はんの霊圧が重い。

とどめ刺す気や。

回りが見えとらん。

乱菊も巻き込むかもしれんな。

ま、それに気づいた日番谷はんを眺めるのもまた一福。おもしろいかもしれん。

深く息を吸い込んで、静かに呼び出す。
彼の力。氷輪丸の力。

「露天に坐せ、

氷輪丸。

パキン、と綺麗な音と共に現れる氷龍。

これ、朽木はんとこの妹はんと並べるんちゃう？
透き通って、きれい。

ああ、でもあかん。
敵ついわ。

日番谷はんが氷輪丸を振るう。

僕に向かつて真っ直ぐに、龍が来る。

「ギン、…ギンッ！逃げなさいッ、ギンッ！！」

…乱菊。

お前はエエ女やなあ。

僕の心配なんかして。

隊長はんと気まづくなるかも知れん。

乱菊。お前ほんまエエ女や。

ボクが認めた、エエ女や。

だから泣かんというて。

乱菊。

ボクは大丈夫や。…多分。

ため息は、血の臭いがした。

「…ギン。あんたってそんなに馬鹿だった？」

遙か彼方。だいぶ大きな木に叩き付けられて身体中から悲鳴が聞こえそう。

…たすけてー。痛いよー…。ほら。

「アホか」

「酷いわぁ、怪我人にそれはあかんて」

「てか、隊長が「どっちゃ？」日番谷隊長に決まってるでしょ。」

アンタはギンよギン。始解なんてするからですよー。もう、何ムキになってるんですか？」

お、乱菊が珍しくオカンみたいや。

でもな、乱菊。

ボク結構重傷やの。

頭に響くわぁ。

「うつせー。だいたいなあ、コイツが『ちっこいちっこい』煩えんだよ」

「言ってへんよ」

「目が言ってるんだよ目が！」…はぁ」

…あかん。ぐらぐらしてきおった。

色しか分かん。

イズルまだやるか。卯ノ花隊長捕まらへんのやるか。

「…？ギン？」

ちよつと、ギン？すっかりしなさいよ、ギン。起きてる？生きてる？」

「オイ、市丸…吉良、こつちだ！…卯ノ花隊長。すみません、忙しいのに」

あ…。あかん。

日番谷はんのせいや。

ボク悪くあらへん。

ぜーんぶ日番谷はんのせいやあ。

「ギン！ギン！」

乱菊、揺らすな。飛んでまう。

…最後に映った乱菊は半泣きで、それでもお前はエエ女や。

ま、それに気づいた日番谷はんを眺めるのもまた一興。

おもしろいかもしれん。

深く息を吸い込んで、静かに呼び出す。

彼の力。氷輪丸の力。

「露天に坐せ、

氷輪丸。

パキン、と綺麗な音と共に現れる氷龍。

これ、朽木はんとこの妹はんと並べるんちゃう？

透き通って、きれい。

ああ、でもあかん。

敵ついわ。

日番谷はんが氷輪丸を振るう。

僕に向かって真っ直ぐに、龍が来る。

「ギン、…ギンッ！逃げなさいッ、ギンッ！…」

…乱菊。

お前はエエ女やなあ。

僕の心配なんかして。

隊長はんと気まづくなるかも知れん。

乱菊。お前ほんまエエ女や。だいたいなあ、コイツが『ちっこいちっこい』煩えンだよ」

「言ってへんよ」「目が言ってるんだよ目が！」「…はあ」

…あかん。ぐらぐらしてきおった。

色しか分かん。

イズルまだやるか。卯ノ花隊長捕まらへんのやるか。

「…？ギン？」

ちよっと、ギン？しっかりしなさいよ、ギン。起きてる？生きてる？」

「オイ、市丸…吉良、こっちだ！…卯ノ花隊長。すみません、忙しいのに」

あ…。あかん。

日番谷はんのせいや。

ボク悪くあらへん。

ぜーんぶ日番谷はんのせいやあ。

「ギン！ギン！ギン！」

乱菊、揺らすな。飛んでまう。

…最後に映った乱菊は半泣きで、それでもお前はエエ女や。

ま、それに気づいた日番谷はんを眺めるのもまた一興。

おもしろいかもしれん。

深く息を吸い込んで、静かに呼び出す。

彼の力。氷輪丸の力。

「露天に坐せ、

氷輪丸。

パキン、と綺麗な音と共に現れる氷龍。

これ、朽木はんとこの妹はんと並べるんちゃう？

透き通って、きれい。

ああ、でもあかん。

敵ついわ。

日番谷はんが氷輪丸を振るう。

僕に向かって真っ直ぐに、龍が来る。

「ギン、…ギンツ！逃げなさいッ、ギンツ！」

…乱菊。

お前はエエ女やなあ。

僕の心配なんかして。

隊長はんと気まづくなるかも知れん。

乱菊。お前ほんまエエ女や。だいたいなあ、コイツが『ちっこいちっこい』煩えンだよ」

ま、それに気づいた日番谷はんを眺めるのもまた一興。

おもしろいかもしれん。

深く息を吸い込んで、静かに呼び出す。

彼の力。氷輪丸の力。

「露天に坐せ、

氷輪丸。

パキン、と綺麗な音と共に現れる氷龍。

これ、朽木はんとこの妹はんと並べるんちゃう？

透き通って、きれい。

ああ、でもあかん。

敵ついわ。

日番谷はんが氷輪丸を振るう。

僕に向かって真っ直ぐに、龍が来る。

「ギン、…ギンッ！逃げなさいッ、ギンッ！！」

…乱菊。

お前はエエ女やなあ。

僕の心配なんかして。

隊長はんと気まづくなるかも知れん。

乱菊。お前ほんまエエ女や。だいたいなあ、コイツが『ちっこいちっこい』煩えンだよ」

「言つてへん」目と言つてるんだよ目が！」「…はあ」

…あかん。ぐらぐらしてきおつた。

色しか分かん。

イズルまだやるか。卯ノ花隊長捕まらへんのやるか。

「…？ギン？

ちよつと、ギン？しっかりしなさいよ、ギン。起きてる？生きてる？」

「オイ、市丸…吉良、こつちだ！…卯ノ花隊長。すみません、忙しいのに」

あ…。あかん。

日番谷はんのせいや。

ボク悪くあらへん。

ぜーんぶ日番谷はんのせいやあ。

「ギン！ギン！！」

乱菊、揺らすな。飛んでまう。

…最後に映った乱菊は半泣きで、それでもお前はエエ女や。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1334i/>

擬似的未来観測

2010年10月9日15時34分発行